

稲作情報

(次年度対策)

令和4年度第8号

令和5年2月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、
喜多方市、北塩原村、西会津町

次年度の技術対策

1 安定生産に向けた土づくりの実施

【土づくりの効果】

干ばつや極端な日照不足といった異常気象に対するイネの抵抗力が高まります。土壌分析（数年に一度で可）を実施したうえで、堆肥や土壌改良資材の施用、稲わらのすき込みなどにより地力の維持・向上を図りましょう。

【堆肥・土づくり資材の施用例】

堆肥：牛ふん堆肥 1トン／10a

土壌改良資材：とれ太郎、ケイカリン、ケイカリンバリュー、田んぼマスター等

※ごま葉枯病が発生するような秋落ち水田では、含鉄資材を投入しましょう。

【稲わらの春すき込みの留意点】

秋に稲わらをすき込みできなかった場合でも、春先にすき込んで地力を高めましょう。

- ・稲わらは、均一に散らします。
- ・稲わら分解促進剤（ワラ分解キング等）は基本的に秋に施用しますが、春に使用する場合はなるべく早い時期（代掻き45日前まで）に施用してすき込んでください。
- ・代かきは浅めにして、稲わらを土中に埋め込みます。

【肥料価格高騰について】

昨今、肥料価格が高騰しています。肥料コストを抑えるため、土壌診断に基づく適正な施肥や海外市況に影響されにくい地域資源（堆肥）の活用も検討しましょう！

なお、活用できる堆肥の情報は喜多方農業普及所で提供しています。



コチラ

堆肥供給者リスト

2 紋枯病の対策

昨年8月の豪雨によって土砂が流入したほ場では、紋枯病の発生が散見されました。紋枯病は菌核を作り越冬することから、昨年発生したほ場では今年の発生リスクが高まるため注意が必要です。

【紋枯病の特徴】

楕円形で灰色の病斑が稲の茎の下部から上部に進展します。病斑が穂まで進展することは稀ですが、茎の病斑部分がもろくなり倒伏しやすくなります。高温多湿や多肥栽培で発生しやすくなり、例年7月下旬頃から見られるようになります。稲わらに付着して越冬した菌核が代かきによって畦畔際に寄せられるため、畦畔際での発生が多い病気です。

【対策】

密植や多肥栽培を避けましょう。また、短稈品種ほど被害が助長されますので、作付計画を立てる際は注意してください。

薬剤による防除では、紋枯病に登録のある育苗箱施用剤や本田殺菌剤を使用しましょう。

3 雑草対策

昨年発生した雑草の種類を確認し、種類に合わせた対策を講じましょう。

○除草剤の選定は適切でしたか？

- ・昨年発生が多かった雑草に効果の高い除草剤を選びましょう。

(例) ビエー……成分名：トリアフェモン 商品名：ホデガードプロ1 粒剤など

クダグライ……成分名：メタゾスルフロン

ホタルイ……成分名：フェンキトリホ 商品名：ベッカ1 粒剤など

- ・一発剤で不十分な場合は、初期剤や中・後期剤を組み合わせましょう。

○除草剤の散布時期は適切でしたか？

- ・雑草の発生時期は、その年の気象により毎年異なります。雑草の発生状況をよく観察し、散布適期を逃さないように散布しましょう。

○ほ場の状態は適切でしたか？

- ・水持ちが悪いと除草剤の効果が低減しますので、畦塗り等の漏水対策を行いましょう。
- ・除草剤の効果を十分に発揮させるため、田面の均平化に努めましょう。

【**雑草イネ対策**】

- ・近年、「**雑草イネ（赤米）**」の発生地域が拡大しています。雑草イネの特徴は、稈長と穂長が長い、籾の色が赤い（黒い）、籾が簡単に脱粒する、玄米が赤いなどです。
- ・雑草イネの種子（赤米）が収穫物に混入すると2等以下へ格付されることがあります。早期に発見して、発生が少ないうちに速やかに対応することが大切です。
- ・雑草イネの発生するほ場では、効果の高い除草剤の体系処理（初期剤「ソネット1 粒剤」「メオ1 粒剤」「エリジャン乳剤」、初中期剤「ベッカ1 粒剤」、中期剤の組み合わせ）を行うとともに、疑わしいイネを見つけた場合には株ごと抜き取り、埋却しましょう。

【**クサネム対策**】

- ・クサネムの種子が収穫物に混入すると2等以下へ格付されることがあります。
- ・クサネムは湛水状態を維持すると発生が抑制されるため、中干し以降に発生しやすくなります。このため、除草剤による防除が難しい雑草です。
- ・水稻の栽培前半はクサネムに対して効果の高い除草剤で発生を抑え、栽培後半は手取り作業をこまめに行い、種子がほ場内に残らないようにします。これを数年繰り返し、徐々に発生密度を下げてください。

★**飼料用米に取り組む生産者の皆様へ**★

飼料用米制度が見直され、令和6年産米から一般品種で取り組んだ場合の交付金単価が減額されます。ふくひびき等の専用品種を検討しましょう。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

J A会津よつば喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801